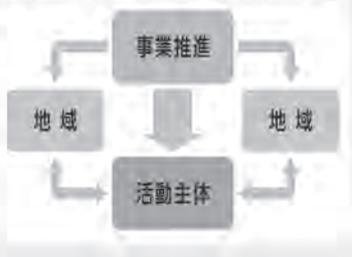


SBP=ソーシャルビジネスプロジェクト

地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していくという取り組み。地域資源(ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等)と交流し、見直し、活用して“まちづくり”や“ビジネス”を提案していく、そしてその取組を地域で応援し支えていくというもの。



S B Pとは



吉川 康治 議員

町で全てをやっていると思うと、経費も人もかかる。民間の発想に対して支援をし、新しく

地域課題を解決する仕組みづくりにサポートを町も積極的に関与していきたい



きた大学や、SBPが授業に組み込まれる予定の高校と連携することで地域課題を解決する仕組みを作れば、新たな魅力にもなる。

町長 学生を起点に、私どもの町の施設を活用し、地域住民を巻き込んでほしいという思いで大学に職員派遣しています。産官学民連携の中で、専

馬に残ってくれるチャンスとなる。この仕組みづくりに力を注いでいきたい。

町長 学生を起点に、私どもの町の施設を活用し、地域住民を巻き込んでほしいという思いで大学に職員派遣しています。産官学民連携の中で、専

門職大学、あるいは地域に根差す2つの高校、そういうものを絡めて今後の香美町が持つ地域課題について、若い世代の人の考え方や学校の取組で町なりが少しでも変わり、人口減少の抑制に少しでも役立つような取組には、町も積極的に関与していきたいと思えます。



未来の香美町を無人運転車が走るかも



南垣 誠 議員

観光客やJR乗り継ぎのための幹線路線・生活のための乗合タクシー・通学のスクールバスはそ

公共交通のさらなる利便の向上を求める推移を見守りながら対応を協議します



町長 これから免許返納者や高齢者が増えてきて、公共交通の必要になる方が増えてくるという認識はございます。今

それぞれ別の運行形態として考えるべきではないか。特に、高齢者の移動手段の確保は喫緊の課題ではないか。

後のタクシー事業者への支援のことについても検討すべき時期に来ていると思いますし、公共交通の在り方についてはこれが1つの答えということではございませんので、試行錯誤しながら協議します。